防災教育

教育最前線！学びの芽

平成30年7月豪雨の経験に学ぶ

「広島県自然災害に関する防災教育の手引」を新しく作成

広島県は土砂災害の危険箇所が全国一多く、平成30年7月豪雨では、児童や生徒にも犠牲者が出ました。このことを踏まえ、県教育委員会では、県土木建築局砂防課や広島地方気象台、国土地理院などの協力を得て、土砂災害や洪水から命を守るため、「広島県自然災害に関する防災教育の手引」の別冊を作成し、県内全ての学校に周知しました。

別冊には、豪雨災害で被災した児童、生徒による作文も掲載しています。こうした経験から学び、自然災害の被害を最小限にとどめるとともに、児童や生徒が主体的に判断し、自分や家族の命、地域を守るために行動できる力を育成することがこの手引の目的です。今後は、各学校の実態に応じた防災教育を、更に充実させていきます。

児童、生徒が平成30年7月豪雨の実体験を記した作文も掲載し、日頃の備えの大切さなどを伝えます。

▲広島県自然災害に関する防災教育の手引［別冊］

HPでも手引を読むことができます。

防災教育の手引き　別冊

呉市立仁方中学校での防災教育

自助 共助の大切さを考える

呉市立仁方中学校では、生徒が身近で体験した平成30年7月豪雨を振り返りながら、災害から身を守るために、自分たちには何ができるかを考える授業が行われました。生徒たちは、危険な場所をハザードマップで確認したり、自分たちにできることを生徒同士で話し合ったりしながら、災害時に自分の身を守る「自助」はもちろん、地域の方々と助け合う「共助」の大切さを学びました。

ハザードマップで危険箇所を確認

災害時に自分たちができることを発表

授業を受けた生徒は、「実際に災害を体験し、あらかじめ備えていないと地域の人と一緒に逃げることは難しいと感じた。防災について普段友だちと話す機会はないので、こうした授業で意見を交わすことができて良かった。家族とも話し合いたい。」と語っていました。

いざというとき、自分の判断で命を守ることができるよう備えておきましょう

防災士の資格を持つ
呉市立仁方中学校 社会科教諭
中川雄貴（なかがわゆうき）先生

「くりっぷ情報局」が行く

おしえて！よくばり先生

県立福山工業高校
益井昭雄（ますいあきお）先生

ひたむきさを大切に…。継続する姿勢を伝えたい！

くりっぷ　益井先生、こんにちは！今回はストイックすぎる体育の先生がいるという生徒さんからの推薦です。先生は筋トレや短距離ダッシュなど、常に休むことなく身体を動かされているそうですね。

先生　そんなことはないですよ…（笑）。でも私は体育教諭でサッカー部の顧問でもあるので、やはり機会を見つけては体力維持に努めています。そんな姿が今どきの子供たちには珍しく見えるのかもしれませんね。

くりっぷ　いえいえ、とっても引き締まった体型を維持されていてうらやましい限りです。体育の授業やサッカーの指導において、普段どのようなことを心がけていらっしゃいますか？

先生　私はまず生徒ごとに長所と短所を見極め、短所をアップさせるよう指導を行います。その際、「つかずはなれず」というスタンスで、生徒たちの自主性を引き出すようにしています。

くりっぷ　その辺りが生徒たちの心をつかむ秘訣なんでしょうか。ところで先生は趣味も充実しているんですよね。

先生　はい、若い頃からのバイク好きが高じて、今はツーリングがてら「ソロキャンプ」を楽しもうと、アウトドアグッズなどを買い揃えている最中です。先日も愛車のカブ（バイク）にまたがり、一人海まで出掛けてコーヒーを沸かして飲みました。喧噪を離れてひとりきりでたしなむコーヒーの味はこれまた格別なものですよ。

くりっぷ　まさに「大人のひととき」ですね！それでは最後に生徒たちへメッセージをどうぞ。

先生　早く自分が一所懸命になれる目標を決めること。そうすれば、将来の方向性や今やらなければならないことが自ずと見えてくるはず。悔いのない高校生活を送ろう！

特別支援学校の取組

県立庄原特別支援学校 × 県立広島大学

IN 備北丘陵公園

「ゆるるの森づくり」で地域貢献！

「ゆるるの森づくり」は、県立庄原特別支援学校の生徒たちが県立広島大学の学生と協力し、国営備北丘陵公園の一部分を整備する活動です。地域貢献への思いから取り組んでおり、今年で7年目を迎えます。生徒たちが自らアイデアを出して役割や担当を決め、木材を加工し、階段や遊具づくり、除草作業などを行っています。「大変だけど、達成感も大きい！」と生徒たちもやりがいを感じており、今後も快適な公園づくりを目指して、整備を続けていきます。

1 大学生と一緒に、アイデア出しをします。

楽しい遊具がたくさんだね！

2 遊具をつくるため、木をちょうど良い長さに切ります。

3 みんなで力を合わせて森づくり進行中！

みんなで協力してがんばります！

★Let's enjoy bouldering★

ボルダリングウォールが完成しました！

今年度、県立福山少年自然の家では、体育館内に新たにボルダリングウォールを設置しました。高さ約4m、幅6mで、そこに傾斜角度90度と100度の2面を設定しています。

設定されたゴールを目指して、登り方を工夫したり、限界にチャレンジしたりと、コースにより難易度が変化します。自ら考えて体験できるとても楽しい活動となっておりますので、ぜひ体験してください！

幼児から大人まで無料で利用できます。必ず事前にお問い合わせください。多くの皆様の御来所をお待ちしています！

場所　県立福山少年自然の家
福山市金江町藁江619-2　TEL 084(935)7166

開所時間　9:00～17:00
休所日　（原則）月曜、祝日の翌日、年末年始